



こんにちは。鍛冶ゼミ広報の宮田です。今回、ゼミの研修旅行で行ったアメリカのサンフランシスコ、バークレー、ナパバレーについてお伝えしたいと思います！

この旅行は9月1日～7日の5泊7日で行きました。従前にじっくりワイナリーについての知識を深めた上で、ニューワールドと呼ばれるアメリカのワイナリーが集積したナパバレーに行けたことはとても良かったです。日本も長野県や山梨県など比較的ワイナリーが集積しているところがありますが、スケールが全然違いました！

都市型ワイナリーは東京にも複数あり、これまでインタビューなどをして調査をしてきましたが、サンフランシスコ大都市圏には、バークレーという大学町の街なかに、ワイナリーとブドウ畑が隣接していない都市型ワイナリーがあり、今回2軒訪ねてインタビューをしました。訪ねてみるとどちらも、街なかであるためふらっとテイastingをしてワインを購入していくお客さんが多くいて、日本ではなかなか目にしない光景ではないか、と思いました。また、鉄道の最寄駅からワイナリーまで歩いている途中、ワイナリーや各家庭で使う貯蔵タンクや樽、瓶などを販売する専門店があり、こんなにもワインが身近な存在であるのか、と驚きました。

ナパバレーでは、ワイントレインというブドウ畑の中を列車でゆっくり食事をしながら楽しめる観光列車に乗り、ワイナリーに訪問しました。展望車両を予約していたので、景色も料理もワインも同時に楽しめ、ワインツーリズムの醍醐味を堪能しました。

研修旅行では、ワイナリーなどの関係機関への調査だけではなく観光も楽しみました。ゴールデンゲートブリッジをサイクリングしたり、フィッシャーマンズワーフという海沿いの観光地に行ったり、サンフランシスコを思い切り楽しみました！単なる旅行ではなく、学んだことを実際に現地に行き、体感できたことはゼミならではの楽しみ方ではないかと思います！

